

つなぐ手

2019

平成31年3月

Vol.13

公益社団法人 富山県柔道整復師会

平成31年3月31日発行

主な 記事

- ボウリング・太極拳 2
- グラウンドゴルフ 3
- ソフトボール 4
- テニス 5

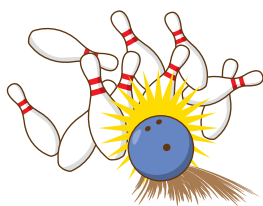
- テニス・ソフトボール 6
- ゴルフ・ラグビー 7
- ソフトバレーボール 8

ねんりんピック富山2018特集号



富山ブロック 一ノ瀬 充

ボウリング 交流大会 (富山市)



日 時：平成30年11月4日(日) 午前9時
場 所：富山地铁ゴールデンボウル

秋晴れの下、総合開会式が「夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から」のスローガンで全国から約1万人の選手・役員が集まり富山県総合運動公園で開催されました。富山県内15市町村27種目で熱戦が繰り広げられました。

ボウリング会場では、男女189人が個人・団体に分かれて交流大会が行われました。

ボウリングは、年齢や技術に関係なく誰もが気軽に楽しめるスポーツとして、また筋力維持、健康増進の効果があるスポーツとして広く愛されています。幸い当日は、怪我をされた選手も少なく、処置としてはアイシング、テーピング、マッサージを行いました。

今後も様々な救護活動を通じ、柔道整復師として社会への貢献・役割をしっかりと果たしていきたいと思います。

また、今回一緒に活動をしていただいた岡本祐仙先生、明正弘先生、本当にありがとうございました。

太極拳 交流大会 (富山市)



スポーツ委員 黒崎 洋昭

日 時：平成30年11月4日(日) 午前8時30分
会 場：富山市八尾スポーツアリーナ
参加者名：黒崎洋昭、富田静夫、中邑克信

今回、太極拳の会場となった八尾スポーツアリーナで、救護・ケアを担当しました。

私達が会場に集合した時には、既に大会関係者やボランティアの方が活動されていて、体育館周辺では各県の選手達が熱心に練習をするなど、全国大会らしい雰囲気を感じました。ケアスポットコーナーには、競技前にケアを希望される方は少

なかったのですが、競技日程が進行するに伴い、競技を終えた選手達が続々とケアに訪れました。最終的には55人のケアを行いました。最終的には55人のケアを行いましたが、ベッドが3台しかなかったため、予想以上に混雑する状況になりました。ケアを受けられた選手の中には、バスや電車での長時間の移動による疲労、緊張してよく眠れなかったなど、コンディショニングを保つことが難しかったと言う方もいました。また、高齢者ということで普段から腰や膝などの関節に問題を抱えている方も多く、競技後にケアをしてもらえたことで、大変喜んでいただけました。



グラウンド・ゴルフ 交流大会 (高岡市)



高岡ブロック 三輪 芳光

日 時：平成30年11月4日(日)

会 場：高岡西部総合公園
(ボールパーク高岡)

参加者名：清原正樹先生、江畑利輝先生、
三輪芳光

午前8時30分からの予定に、8時頃に行けば十分だろうと思っていましたが、もう選手の皆さんが練習を開始されていて「元気だなあ～」と感心しました。

トレーナー活動の方は7時間強の間に8人と少し寂しい感じがしました。ケガをされた選手が少なかったことは良い事だと思いました。

2日目責任者 島田 貞之

日 時：平成30年11月5日(月)

午前9時00分

会 場：高岡市 高岡西部総合公園
(ボールパーク高岡)

大会2日目は、街が紅葉で染まり始めた秋晴れの空の下で行われ、廣川 昇先生と私島田の2名が担当いたしました。

各県の代表チームや選抜チームの選手の方々は、生き生きとした面持ちで会場を行き交い、大会を心から楽しんでおられる様子が伺えました。

そんな中でも、練習や試合で酷使した体に対して不安感があるようで、我が柔道整復師会のブースを訪れて来られ、捻挫や筋肉損傷に対してテーピング等のケア・コンディショニングを希望されていました。単なるマッサージを希望されて来られた方もおりましたが、緊急性や競技に支障を来す損傷などに対応をしている旨を説明しました。

この日、ブースを利用された方の内、2名の方



テントの前には、柔道整復師の看板がありましたが、何をするブースなのか分からない方が多くみられました。

柔道整復師とは、どのような職業なのかを詳しくご説明し理解していただきました。「我々の職業は全国的に少し知名度が低いのかな」と、思いましたが、参加出来て良かったと思いました。

は「昨日テーピングのケアを受けたお陰でとても快適にプレーをする事が出来ました。」と喜んでおられました。

当日、実際にケア・コンディショニングをさせて頂いた内容は、頸部・腰部・膝関節・足関節・手関節の靱帯および周囲筋損傷等に対してのテーピング・ストレッチとなりました。

また、ご本人やご家族の日常の腰痛や膝痛・肩こりや神経痛症状・指骨骨折癒合後の関節拘縮状態などの相談を目的に、約15名の方がブースを訪ねて来られましたので、親切丁寧に指導をさせていただきました。

大会開催日の前から来県されていた方から「高岡の人は親切ですね！」と言って頂いた事、お土産の相談を受けた事、神奈川・京都・福岡などの団体の方々と各々の地域の特徴や自慢話を交わした事、そしてお隣にブースを設けられていた高岡市ヘルスボランティア協議会の皆さんとの交流が持てた事などもあり、誠に楽しい一日を過ごすことが出来ました。此処にご報告と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



スポーツ委員 飛田 秀明

日 時：平成30年11月4日(日)

会 場：東富山運動公園

参加者名：飛田秀明、今庄 拓、寺西正幸

ねんりんピックのソフトボール競技での救護ボランティア活動に参加してきました。寺西先生、今庄先生、私飛田の3名で担当しました。

当日は、小雨が時折ふる天候でしたが、選手の皆さんの元気なプレーに圧倒され天候も回復に向

かいました。私たちは会場のテントに設営されたケアサービスというブースで、選手の皆さんのケアを中心に施術をしました。

ドクター、看護師も待機されており、ケアに専念できる体制でした。

その為テーピングや、ストレッチ、マッサージが主になり、コンディションを整えた選手の皆さんには大変喜ばれ、試合に頑張れるとグラウンドに出て行かれたのがとても印象的でした。約30名の方が施術に来られました。

全国から来ておられて、沖縄県や高知県、静岡県など遠方の方々がこの試合会場にて熱戦を繰り広げていました。60・70代とは思えないプレーにただただ感動の一言でした。高知県の方は施術後も一度訪れてきて、「助かりました、ありがとうございました」と、お礼を言っていかれ、感慨深い思いでした。

また、田畑裕明衆議院議員が訪れられ「富山県の柔整師は優秀な方ばかりですよ!」と、応援して頂き感謝の一言です。各先生方の敏腕を、ふるっていただき大変有意義な活動となり、参加して喜ばしく感じております。ありがとうございました。



テニス 交流大会 (富山市)



富山ブロック 酒井 重数
岩間 雄大

日 時：平成30年11月5日(月)

会 場：岩瀬スポーツ公園

参加者名：高辻紀久夫、吉田大道、岩間雄大、
酒井重数

11月は「向寒」や「凄凉」とも称され、厳しい冬に向かう肌寒い寒秋のイメージがありますが、ねんりんピックテニス交流大会開催の2日目、11月5日は、大変に暖かく、穏やかな日差しの中、行われました。

熱気溢れる試合が続き、勝ち進んだ選手は試合が立て続くこともあったため、私たちのブースへ来ていただいた選手の方々は、僅かな時間の合間を見て来所される方も多く、迅速な対応が求められました。また、気温が予想以上に高くなったため熱中症の疑いの選手も来所され、適切な対応が求められました。

今回のトレーナー活動を通じ、柔道整復師としての施術技術を高めることは当然ですが、熱中症や応急処置等に対する対応を再確認し、共有していくことが重要であることを改めて痛感致しました。

最後になりますが、来所された選手の中には試合後結果を報告にきてくださる方もおり、柔道整復師としてやりがいを感じる瞬間も戴きました。

このような機会を与えてくださった富山県柔道整復師会並びに当日ともに活動をしてくださった諸先生方、ありがとうございました。



テニス・ソフトボール 交流大会(富山市)

スポーツ委員長 前原 征一

日 時：平成30年11月4日(日)

会 場：岩瀬スポーツ公園

参加者名：テニス 金田英治、河合 亨、
水上重一、牛島政泰
ソフトボール 田中功介、森本慎也、
前原征一

岩瀬スポーツ公園でねんりんピック富山2018テニス・ソフトボール競技が開催されました。

競技者は約1,000人で、会場は応援の方も含め、まるでお祭りのような人で賑わいを見せていました。

富山県柔道整復師会ブースは、7名体制で67名に施術しました。元気なシニアを目の当たりにして目から鱗が落ちるような思いでいっぱいです。

また、選手の体は一般的な老人体型ではなく、筋肉質で引き締まった方が多くみられ、この事実にも驚かされました。カルチャーショックを受けた自身は、「明日からでも少し歩こうかな?」と、自分の考えを変えるような日でした。



ゴルフ 交流大会 (富山市)



スポーツ委員長 前原 征一

日 時：11月5日(月)
会 場：呉羽カントリークラブ
参加者名：黒崎洋昭、前原征一

呉羽カントリークラブを会場に194人の競技者が来県しました。

黒崎洋昭先生と私前原の2人が担当となり、選手たち19名に施術しました。私たちが特に留意したのは、ハーフ休憩の施術でした。9ホールを終えた選手たちがブースに来て、腰や肩の部位に関しては施術を行わない理由を選手に伝え、18ホール終了後にブースに足を運んでくれるよう伝えました。



なぜなら、ハーフ休憩で施術を受けることにより、筋膜が緩み、残ったホールに影響が懸念されるからです。私も黒崎先生も趣味でゴルフをたしなみます。

この経験値より2人の意見が一致した結果でした。ハーフ休憩の施術を行わない理由を選手の方々にインフォームドコンセントしたところ、選手の方々には感謝されました。その後、プレー終了時の施術で混み合いはしましたが、「おもてなしの精神」そのものは伝えられたかなと思っています。

ラグビー 交流大会 (魚津市)



新川ブロック 島崎秀利

11月4日(日)、肌寒い日でした。魚津桃山運動公園の陸上競技場と運動広場の2ヶ所でラグビー競技が行われ、私は、その日ボディケア要員として参加しました。早速、準備が整う前から、一人の

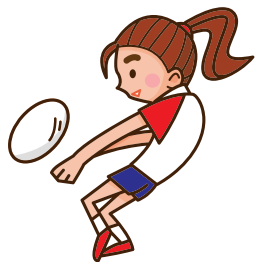
選手が来られました。まだベッドが準備されていないので、会場隅にあった長椅子を使用し、寺田会長の準備品と自分が持ち込んだテーピングで、腰、頸、膝、足等の痛みと違和感を瞬時に取り除くと、その後チーム仲間を連れて来られ、他の選手も次々と集まって来ました。

そこで富山県の柔道整復師のレベルの高さをアピールしているうちに、名古屋や京都、埼玉から名刺と記念撮影の要望があり、中でも埼玉の選手からは、その時持参していた受診票を撮って保存するように言われたので、何故かと尋ねると治療に来たいので覚えておいて欲しいとのこと、遠方からわざわざ?!と大変驚きました。

また、ある選手は走れました!!とブース前を軽快に通り過ぎて行かれました。

「人の喜びは我が喜びと」、改めて気付きこのような機会に参加できたことに感謝いたします。

ソフトバレーボール 交流大会 (黒部市)



新川ブロック 中野 一豊

日 時：平成30年11月4日(日)・5日(月)

会 場：黒部市総合体育センター

参加者名：〔11/4〕小柳 龍、中野一豊、
開澤結城、山田隆司

：〔11/5〕石政憲司、魚谷明弘、開澤結城

「夢つなぐ長寿のかがやき富山から」を大会テーマとして第31回「ねんりんピック富山2018」ソフトバレーボール・俳句交流大会が黒部市で開催されました。このたび黒部市実行委員会よりトレーナー支援の依頼を受け、黒部市総合体育センター

においてソフトバレーボール交流大会を、11月4日(日)は4名、11月5日(月)は3名、計7名の先生の協力のもと2日間の救護活動を行いました。

ねんりんピック(全国健康福祉祭)は、60歳以上の方々を中心にした健康と福祉の総合的な祭典です。元気な参加者が多く、年齢を感じさせない、どの試合も選手たちの真剣さが伝わるもので、プレーの一球一球に暖かい声援が送られていました。

(公社)富山県柔道整復師会のトレーナーブースでは、試合前にはウォーミングアップのための補助、怪我や故障箇所の予防のためのテーピング、ストレッチ等を施しました。試合後のケアには、捻挫、挫傷、打撲等の対応に追われ、テーピング、ストレッチ等を施し、明日の試合のケアも指導しました。

今回の活動では、大会参加者約500名の内、一日目は26名、二日目は46名、合計72名の選手が利用されました。試合前にトレーナーブースを訪れた方々が試合後に来られ、「いつもより体が軽く動けたよ。明日も来てもよろしいですか」と言われ、柔道整復師の活動を選手の皆様にアピールが出来たと感じました。今後も柔道整復師の重要性を認識してもらえるように知識・技術の研鑽に励みたいと思います。

